

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人エルム福祉会 なすの園		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 15日		～ 令和7年2 月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 15日		～ 令和7年2 月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・親子通園と単独通園の両方を受け入れており、低年齢からの利用が可能。	・親子通園をなさる方同士と一緒に療育参加することによりコミュニケーションを取り合い、交流のきっかけ作りとなるように取り組んでいる。 ・レスパイトケアとして親子通園の合間にお子さまを預りカフェルームでリフレッシュタイムをとって頂いたり、負担軽減を図っている。	・親子通園から単独の通園へと移行が無理なく進むことや保育園、幼稚園との併用で集団の経験のチャンスが得られるように個々の成長に寄り添っていく。 ・親子参加での研修機会を設けたり、ペアレントトレーニングの機会を持ちたい。
2	・言語聴覚士が常勤しており、個別指導を希望者に行っている。	・言葉に関するお子さまの悩みを抱えている保護者の方が多い為、療育利用時間内に希望者が月に一回くらいのペースで言語聴覚士による個別指導を実施し、個々の状況に合わせた丁寧な指導に取り組んでいる。	・指導内容や結果について記録し、保護者の方に配布しており、閲覧も職員で出来るので職員間で共有する機会を持ち療育に生かしていく。
3	・おやつ選んで買い物体験をしている。	・おやつを値段別に分けて置き、70円になるように選ぶ体験をすることにより、買い物ごっこを通して買い物の練習を意識して取り組んでいる。	・実際の体験へ繋げられると良い。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・研修や会議の時間確保の難しさがある。	・様々な勤務形態があること。 ・午前からご利用のお子さんと入れ替わりで午後利用のお子さんがみえますので切れ間がないこと。	・今年度の工夫として職員会議を朝8時半から行うことで出勤可能な職員の共通理解と会議時間の確保をした。 ・研修時間については土曜日を半日開所にして機会を設ける。
2			
3			